



5

2026
第90号

ふれあいネットワーク

そよかぜ

「ひとりの不幸も見逃さない社会」を目指して



森町社会福祉協議会

この広報紙「そよかぜ」は赤い羽根共同募金の助成で発行されています

森町社会福祉協議会 令和8年度事業計画

3月18日、森町社会福祉協議会理事会、3月26日、評議員会が開催され、新年度の事業計画・予算について承認されましたので概略をもって報告いたします。

■基本方針

少子高齢化や人口減少の進行により、森町では地域のつながりの希薄化、生活困窮や社会的孤立、判断能力に不安のある高齢者や障がい者の増加など、地域福祉を取り巻く課題が一層深刻化しています。これらの課題に対応するには、制度やサービスだけでなく、地域全体で支え合う仕組みづくりが必要です。

森町社会福祉協議会は、地域福祉推進の中核団体として、小地域ネットワーク活動をはじめとした住民主体の福祉活動を推進し、見守りや支え合い、交流のある地域づくりに取り組みます。また、ボランティア活動の普及・育成や共同募金事業等を通じ、地域福祉を支える人材と基盤の充実を図ります。

高齢者や障がい者の生きがいづくりや社会参加、介護予防、閉じこもり防止を目的として、「ふれあいサロン」や「ミニミニサロン」をはじめとした交流事業を推進し、誰もが気軽に集い、つながることのできる場づくりに努めます。さらに、行政と連携した「生活支援サポーター事業」を通じ、高齢者の軽度な生活支援や見守りを行い、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整えます。

相談支援については、総合相談窓口を中心に、生活福祉資金、愛情銀行、フードバンク活動等を活用した総合的な支援を行い、生活困窮や制度の狭間にある方への早期支援と自立支援に努めます。必要に応じて関係機関と連携し、訪問相談等も含めた丁寧な対応を行い、「ひとりの不幸も見逃さない社会」の実現を目指します。

日常生活自立支援事業により、生活上の判断に不安のある方に対して、金銭管理や書類預かりなどの支援を行い、地域で安心して暮らせる権利擁護の取り組みを進めます。また、ボランティアや地域団体と協力し、地域福祉の輪をさらに広げる活動も積極的に推進します。

さらに、大規模災害の発生時には、行政と連携し災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営体制の整備に努め、被災者に寄り添った支援活動を迅速に実施できる体制を整えます。地域の防災・減災意識の向上や災害ボランティア育成にも取り組みます。

今後も、行政や関係機関との連携を強化し、町民一人ひとりが安心して暮らし続けられる地域福祉の向上に努めてまいります。地域住民の主体的な参加と協働を通じ、誰もが支え合い助け合う森町づくりを目指します。

■事業計画

1. 地域福祉活動の推進

①小地域ネットワーク活動事業の推進

高齢者・障がい者世帯の見守り活動や援助活動はもちろん、地域住民の交流、支え合い活動など幅広い福祉活動に援助します。前年度納めた社協一般会費の40%を地域福祉活動費として町内会へ助成します。

②住民への啓蒙

社会福祉活動について広報紙『そよかぜ』を年4回全戸配布します。また、地域の福祉活動を取り上げ、親しみある広報紙作成に努めます。

③共同募金事業の推進と団体の育成

地域福祉推進のための共同募金事業の理解を深め、広く住民の協働と活動奉仕員の拡充に努め、事業の推進に努めます。

④ボランティア活動の普及と育成

地域におけるボランティアの需要が多様化する中で、ボランティア団体の育成と各方面におけるボランティアの発掘と活動要請に努めます。また、行政と連携し高齢者に対する生活支援や軽度な介護ボランティアを行う「生活支援サポーター事業」実施を通じ、「地域包括ケアシステムの構築」にむけて取り組みます。

⑤災害ボランティアセンターの組織整備

当町にて大規模災害が発生した場合に、各地から災害復旧支援のため、駆け付けることが予想されるボランティアに対してスムーズな受け入れと被災者の立場に立った活動を行うために、行政と連携し災害ボランティアセンターの組織体制整備に取り組みます。

⑥森町ボランティアセンターの推進

ボランティア活動を推進するための活動拠点として各種ボランティア団体の育成、相談、連絡調整、情報の提供を行います。

⑦相談事業の推進

総合相談窓口の常設し、内容に応じて、関係機関と連携します。

⑧森町社会福祉協議会フードバンク活動事業の推進

緊急を要する一時的な生活上の困難に直面している世帯に対し、地域において自立した生活が送れるよう総合相談支援及び無償での食材等提供による支援であります「森町社会福祉協議会フードバンク活動事業」を実施いたします。利用希望者は、相談内容に応じて、1回1人につき7日分相当を限度に米・保存食等が提供されます（支援期間は、最長1か月間を目途といたします）。

⑨高齢者福祉・心身障がい者対策と団体との連携

地域住民の高齢者、心身障がい者（児）に対する理解を深め、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会への事務局業務を通じて協力援助に努めます。また、精神保健福祉対策として支援団体との連携協力を促進します。

2. 「ふれあいサロン」と「ミニミニサロン」の推進

高齢者や障がい者の生きがいづくりや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に、「ふれあいサロン」を毎月1回、さくら体操・ふまねっと教室を実施する「ミニミニサロン」を毎週金曜日に開催します。また、地域間交流促進のため「出前サロン」の取り組みも推進することや、地域単位でのサロン活動への協力支援に努めます。

3. 生活福祉資金等の利用促進と援助

低所得世帯、障がい者、高齢者等生活問題の解決のため、生活福祉資金や愛情銀行の利用を促すことや、必要に応じ生活困窮者自立支援事業制度を活用した支援を実施します。また、公益的取り組みとして「生活困窮者等に対する安心サポート事業」へ参画し、制度の狭間にある生活困窮者の自立支援に努めます。

4. 日常生活自立支援事業の推進と法人後見事業実施への準備

日常生活自立支援事業は、高齢や障がいにより日常生活を送る上での判断に不安のある方を対象に、生活費の管理、書類等の預かりなどを定期的に行う福祉サービスです。町内には潜在的に多数の利用希望者がいることが予想されることより関係機関とも協力し、一人でも多くの方にサービスが提供されるよう円滑な事業運営に努めます。

また、当町社会福祉協議会が、成年後見人または保佐人等となり、ご親族等が個人で成年後見人等に就任した場合と同様に、判断能力が不十分な方の保護・支援を行うものであります「法人後見事業」の実施に向けて準備をすすめております。

5. 心身障がい者のつどい「ふれあいの森」交流事業

「ふれあいの森」交流事業は、今年度で10回目となり心身障がい者等の12団体（約70名）の方々が参加し、交流と親睦を深める場として実施されております。

また、障がい者の理解と地域で互いに助け合い、支え合っていくことを目的とする交流事業でありますので、今年度も行政機関や福祉団体の協力を得ながら開催運営に努めます。

6. 灯籠設置事業

町民の方がお亡くなりになった際、町内の葬儀社2社【(有)伊端造花店・(有)ひらた葬祭社】のご協力・ご厚意により、葬儀に灯籠をお供えします。

7. 小型除雪機・福祉車両（軽トラック）の貸出事業の推進・福祉用具の無料貸出

作業困難な方への除雪ボランティアを実施する際の小型除雪機、町内会・各種団体等での行事等に活用できる軽四トラックの貸出事業を推進します（ただし、小型除雪機はボランティア保険料・燃料費は使用者負担、軽四トラックは燃料費は使用者負担といたします）。町内会や老人クラブの各種団体等に、車イスやレクリエーション用具等を無料で貸出します。

令和8年度 森町社会福祉協議会収支予算

拠点区分：法人運営

(単位：千円)

科 目		予算額	科 目		予算額	
事業活動による収支			施設整備等による収支			
収 入	会費収入	5,520	収入	施設整備等収入計④	0	
	寄附金収入	2	支出	施設整備等支出計⑤	0	
	経常経費補助金収入	20,292	施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤			0
	受託金収入	4,617	その他の活動による収支			
	貸付事業収入	1,100	収 入	積立資産取崩収入	3,977	
	受取利息配当金収入	2		その他の活動による収入	1	
	その他の収入	252		その他の活動収入計⑦	3,978	
	事業活動収入計①	31,785	支 出	積立資産支出	502	
支 出	人件費支出	23,216		その他の活動支出計⑧	502	
	事業費支出	1,034	その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧			3,476
	事務費支出	5,778	予備費⑩			100
	貸付事業等支出	1,100	当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩			△1,000
	共同募金配分金事業費	4,803	前期末支払資金残高⑫			1,000
	助成金支出	80	当期末支払資金残高⑬+⑫			0
	負担金支出	150				
	事業活動支出計②	36,161				
事業活動資金収支差額③=①-②		△4,376				

赤い羽根共同募金

じぶんの まちを 良くするしくみ

共同募金は森町の福祉活動を支えています

令和7年度赤い羽根共同募金の総額

2,649,847円



赤い羽根共同募金は次のように助成されます。

全国・全道の広域な福祉に活用 657,000円

・災害等準備金（被災した地域へ）など

地元の福祉に活用 1,992,847円

・福祉団体及び地域福祉活動

【町内団体等への助成】

町内会活動（小地域ネットワーク事業）、森町日赤奉仕団、森町更生保護女性会、港町なかよし会、虹の会、森町ボランティア連絡協議会、森町老人クラブ連合会、森町手をつなぐ育成会、森町認知症の人と共に歩む会、森町青葉母子寡婦会、チェリーサークル、サポーターさくら、さくら会、ane妻サークル、傾聴ボランティアひまわり、森高等学校、砂原中学校、森中学校、さわら小学校、森小学校、鷺ノ木小学校、ふれあいサロン運営、ボランティアセンター、ボランティア保険助成、ボランティア研修、広報紙「そよかぜ」、フードバンク事業へ助成（敬称略・順不同）

【募金の内訳】

- ・戸別募金 ……………1,607,636円
- ・企業募金 ……………754,509円
- ・学校募金 ……………84,058円
- ・街頭募金 ……………75,093円
- ・興行募金 ……………2,521円
- ・募金箱協力店 ……………102,209円
- ・個人大口・篤志募金 ……………23,821円

令和7年度 赤い羽根募金箱協力店・事業所・学校

グリーンピア大沼
 ちゃっぷ林館
 レストランケルン
 フォーレスト
 道の駅 YOU・遊・もり
 あったかさわらパークゴルフ場
 JA新函館農業協同組合森営農センター
 駒ヶ岳茶房
 ㈱丸魚岩本水産
 チロルの森

向歯科診療所森クリニック
 鎌田医院
 森漁業協同組合購買店舗
 就労支援センターWORKハウス
 森警察署
 つと〜る・プラザ・さわら
 新都市砂原病院
 森町役場
 森町役場砂原支所
 ツルハドラッグ森店

東日本宇佐美㈱森バイパス給油所
 ㈱キタセキ駒ヶ岳給油所
 ㈱マルハニチロ北日本森工場
 森高等学校
 森中学校
 砂原中学校
 さわら小学校
 森小学校
 鷺ノ木小学校
 （順不同・敬称略）

企業募金は、82件の事業所から754,509円のご協力をいただきました。

社会福祉法人 青雲の森
 カネカ北海道スチロール㈱森工場
 JA新函館農業協同組合森堂農センター
 森ライオンズクラブ
 ㈱森青年会議所
 森ロータリークラブ
 森商工会議所
 ㈱マルモフーズ
 ㈱ガレージサンディ
 小樽珍味㈱
 セブンイレブン渡島森本町店
 森医交会
 澁谷漁業
 もりまちのパンやさん たむら
 いなみ食品工業㈱
 龍光寺
 工藤建設㈱
 Primeヘアースタylistサロン
 ビジネスホテルフレスコ
 ㈱マルイゲタ
 株式会社アンサー
 野村設備工業㈱
 ㈱コーリュウ森営業所
 ㈱松田龍雲堂

㈱マルミ吉田商店
 ㈱ヤマイチ佐々木精肉畜産みゆき販売
 堀尾クリーニング店
 ダスキン あべ店
 星組渡辺土建株式会社
 ㈱佐藤エネルギー
 江尻運送㈱
 森清掃㈱
 カネヨ木村水産㈱
 ㈱ハルキ
 名北ミート株式会社
 道南化成工業株式会社
 北海道道南畜産事業協同組合
 道南福祉ねっと
 日本クリーンファーム㈱道南事業所道南農場
 ㈱皆口組
 森自動車学校
 ㈱森ハイヤー
 ㈱日興ハイヤー
 プラザ武蔵
 ラメール森〈豊生園〉
 あんずケア㈱
 道南森ロイヤルケアセンター
 北海道ニチモウ㈱

丸協石油㈱
 森町建設協会
 ㈱イワシマ
 函館歯科医師会森部会
 ㈱P & Sいわた
 ㈱河野組
 森漁業協同組合
 森水産加工業協同組合
 ㈱広工業
 ㈱メリーライフ
 ㈱ひらた葬祭社
 ㈱丸大 大須賀商店
 ㈱茅部清掃
 砂原漁業協同組合
 ㈱ひらた商店
 ㈱北水澤田
 ㈱マルハニチロ北日本森工場
 ㈱ニチレイフーズ森工場
 ㈱マルマス
 カネキチ澤田水産㈱
 ㈱ダキヤマニシ西村商店
 ㈱小泉水産
 ㈱カネヤマ松浦水産
 (社)福さわら福祉会シャリテさわら

㈱関商会
 ㈱三輪商会
 ㈱ワイエスフーズ
 ㈱西村鉄建工業
 ㈱まるなまヤマイチ水産
 ㈱丸太水産
 ㈱上田商会
 丹波工業
 ㈱丸魚岩本水産
 医療法人雄心会新都市砂原病院

(順不同・敬称略)



森高等学校



森中学校



砂原中学校



鷺ノ木小学校



森小学校



さわら小学校



森高等学校と森町共募役員による街頭募金





赤い羽根共同募金にご協力いただきました各町内会の皆さま、募金ボランティアの皆さま、ありがとうございました。

〈令和7年度 赤い羽根共同募金地域〈戸別〉集計表〉

区 分	金額	区 分	金額	区 分	金額	合 計
赤井川	45,000	森川町(3区)	62,290	二ツ山	10,800	1,708世帯
駒ヶ岳(焼山) A	7,000	森川町(4区・5区一部)	89,550	沼尻	16,100	1,607,636円
駒ヶ岳(焼山) B	10,500	御幸清澄	50,000	彦澗第1	34,500	
駒ヶ岳(逆川)	21,000	本町(東)	10,000	彦澗第2	25,000	
駒ヶ岳(西山)	21,905	本町(西)	20,000	彦澗第3	26,500	
駒ヶ岳(中新道)	15,800	上台町(1)	15,500	会所町第1	15,000	
駒ヶ岳(東山)	15,626	上台町(2)	38,150	四軒町	40,000	
尾白内	60,000	上台町(3)	40,100	砂原中央	43,300	
港町	60,000	鳥崎町	150,000	度杭崎第1	20,000	
白川	14,000	富士見町	45,000	さわやか	41,000	
姫川	20,000	鷲ノ木町	21,500	場中第1	17,000	
常盤町	120,000	蛸谷町	25,000	場中第2	20,500	
新川町(甲)	23,000	本茅部町	5,000	小石崎	10,000	
新川町(乙)	47,100	石倉町(東)	6,900	押出	16,015	
森川町(1区)	10,800	石倉町(西)	2,000			
森川町(2区・5区一部)	127,700	濁川	71,500			



ane妻サークル ～防災イベント～

3月26日、ane妻サークル主催による「学ぼうさい 遊ぼうさい」と題した防災イベントが開催されました。当日は児童・保護者、関係スタッフ併せて60名もの参加があり、防災について分かりやすく学べる盛況な会となりました。



虹の会 ～「温もりの家」新年会～

1月14日、グループホーム「温もりの家」にて新年会が開催されました。ボランティア団体「虹の会」による演芸が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



地域福祉活動の紹介

小地域ネットワークおよび団体活動

【鳥崎町内会】

▶令和7年12月18日、46名の方へ、ケーキとボックスティッシュをお届けしました。



▶令和8年3月25日、49名の方へ、桜餅と鶯餅のセットをお届けしました。



【赤井川町内会】

▶令和7年12月22日、「赤井川サンタ」よりクリスマスプレゼントをお届けしました。



▶令和8年2月16日、赤井川町内会GR C部（老人クラブ）・福祉部合同による「冬のレクリエーション」が開催されました。当日は、室内グラウンドゴルフやビンゴ大会、食事会など盛りだくさんの内容で、参加者の笑顔があふれる和やかなひとときとなりました。寒さを忘れ、楽しく交流を深める機会となりました。



【森町身体障害者福祉協会】

▶令和7年12月11日、「障がい者週間記念事業」を行いました。当日は、森町役場保健福祉子育て課伊藤課長補佐による障がい者福祉制度に関する学習会、レクリエーションと盛りだくさんの内容で活気ある会となりました。



【さくら会】

▶令和8年1月21日、さくら会主催による「もりまち家族交流会2026」が開催され、北海道精神障害者家族連合会 事務局長の根深昌博氏を講師に迎え、関係者を含む20名以上が参加しました。



小地域ネットワーク活動の紹介

【姫川町内会】

▶2月11日、「地域の歴史を語る会」を開催し、15名の方にご参加いただきました。当日は、保健師による健康講座や、参加者同士で地域の歴史について語り合いました。



【上台町内会】

▶3月2日、53名の方に、声掛けとともに、ちらし寿司にお手紙を添えてお届けしました。



【森川町内会】

▶3月14日、98名の方に、ぼたもちとお茶をお届けしました。



【御幸清澄町内会】

▶3月15日、50名の方に、「うらにわ」の煮魚弁当となめこ汁をお届けしました。



【本町西部町内会】

▶令和7年12月10日、29名の方に、ケーキとティッシュ、キッチンペーパー、手作り小物をお届けしました。



▶29名の方に、助六寿司、果物、ティッシュをお届けしました。



【新川町内会】

▶令和7年12月13日、34名に、安否確認し、ケーキをお届けしました。



▶3月14日、34名の方に、ぼたもちと味噌汁をお届けしました。



経済的な理由で生活に困っている方へ、自立に向けた相談を行い食料品等を提供します。

フードバンク活動事業を実施しております!!

・森町社会福祉協議会では、生活困窮者に対する支援として「フードバンク活動事業」に取り組んでいます。

◆ 事業の内容

フードバンク活動事業は、経済的な理由で一時的に生活が困窮した世帯に、自立した生活が送れるよう相談による支援を行い、食料品等を無償で提供する事により地域における困りごとを地域全体で支え合う活動です。

(消費期限が近付いた食料品等は、町内の福祉関係事業所等に提供する場合がございます。)

※生活保護受給中の方は、ご利用できません。(申請中の方を除きます。)

◇フードバンク活動事業 利用者の状況 (令和7年12月～令和8年3月) 16件

◇フードバンク活動事業へ寄付受付の状況 (令和7年12月～令和8年3月)



寄付者	種類 / 食料品等
匿名様(個人)	食品 / お米
匿名様(個人)	現金
//	現金
//	現金
//	現金
計 5 件	



福祉的支援連携事業

森町社会福祉協議会では、団体・個人から消費期限が間近に迫った食品や未使用日用品等の寄贈があった場合に生活困窮者や高齢者福祉施設、児童福祉施設などへの配付により福祉的支援活動を行っています。(前号から3月末日まで)



令和8年2月27日「御幸・清澄老人クラブ 幸清会」様から手縫い雑巾が寄贈されました。

寄贈者	寄贈品	配付先
御幸・清澄老人クラブ 幸清会 様	手縫い雑巾	高齢者福祉施設(3カ所)

善意のご寄付 ありがとうございます

前号から令和8年3月31日分までを掲載しています。

- みゆき販売佐々木青果店 様 20,000円
- 常盤町老人クラブときわ会 様 13,000円
- 北海道遊技事業協同組合 様 10,000円
- 櫻庭家 様 100,000円
- 匿名 様 100,000円
- 匿名 様 30,000円

福祉用具無料貸出のご案内

社会福祉協議会で保有する車いす・レクリエーション用具、プロジェクター、軽トラなど無料貸出しております。町内会行事やサークル活動にご利用ください。

その他、いろいろありますのでお問い合わせください。社協職員が指導いたします。



灯籠事業

町民の方がお亡くなりになった際に、町内の葬儀社(2社)のご厚意により社協の灯籠を供えさせていただいております。※地域福祉の推進は、住民参加が基本と考えられることから、現在社協では住民会員制を設け活動へのご協力をいただいております。このことから会員の方が亡くなられた際にはご冥福をお祈りし、各葬儀社さまのご協力のもと灯籠事業を実施しています。



【灯籠事業協賛葬儀社】

- (有)伊端造花店 (2-2374)
- (有)ひらた葬祭社 (8-2047)

俳句「四十雀俳句会」

※興味のある方は、一緒に俳句を楽しみませんか。
お問い合わせは 2-2421 坂本俊男まで

東風こちに乗り 平和よ届け 戦場いくさばに
檀上 美緒子

浮きたって 四月の土に つまずきね
小林 紀美子

～ フラワーサロン森に加入して一緒にボランティア活動しませんか?～

フラワーサロン森では、会員13名で「気軽に・無理なく・楽しい」をモットーに森町社会福祉協議会が主催する事業「ふれあいサロン」でボランティア活動を行っております。見学も出来ますので、興味のある方はご連絡ください! (事務局) 森町社協 TEL 3-2280

【編集・発行】社会福祉法人 森町社会福祉協議会
〒049-2326 茅部郡森町字御幸町3-2
電話: 01374-3-2280 FAX: 01374-3-2281
【印刷】株式会社 P&Sいわた
〒049-2313 茅部郡森町字森川町182
電話: 01374-2-2355 FAX: 01374-2-6344

心配ごと相談所

日常生活の悩みや心配ごとについて相談員が応じ助言いたします。相談内容によっては専門機関へのご紹介もいたしますので、お気軽にご相談ください。